

9 国有林のPRについて

大畑営林署 ○総務係長 上山 秀 則
総務係員 月 井 修

これから「ヒバの里、大畑における営林署の役割」と題して国有林のPRについて発表します。

1 はじめに

営林署の事業実行には地域の協力が不可欠であり、従来密接な関係にあったが次第に遠のいてきている。地域住民が営林署に対して何を期待しているのか、又、営林署が地域住民のために何をしてあげたら良いのか考え、国有林と地域の密接な関係をつかむため、まず何をしたらよいのか考えた。それにはやはり、地域の人達に営林署を知ってもらうことが先決であり、育樹祭、森林教室等でPRしてきているが、今回違った角度から検討したものである。

内容は、カセットテープに営林署の業務内容を録音し、そのテープを地域の人達、学校等でスライド写真を交えてPRしていくものである。

このPR内容は研究発表会用に短くまとめたものである。

それではPR内容をカセットテープとスライドで紹介します。

「森林は木材の供給、国土の保全、水資源の確保、森林レクリエーションの場を提供するなど経済社会の発展と豊かな国民生活のために大きく貢献しております。このスライドはこのように大切な森林を守り育てている大畑営林署の仕事を地域のみなさんに紹介するために制作したものです。

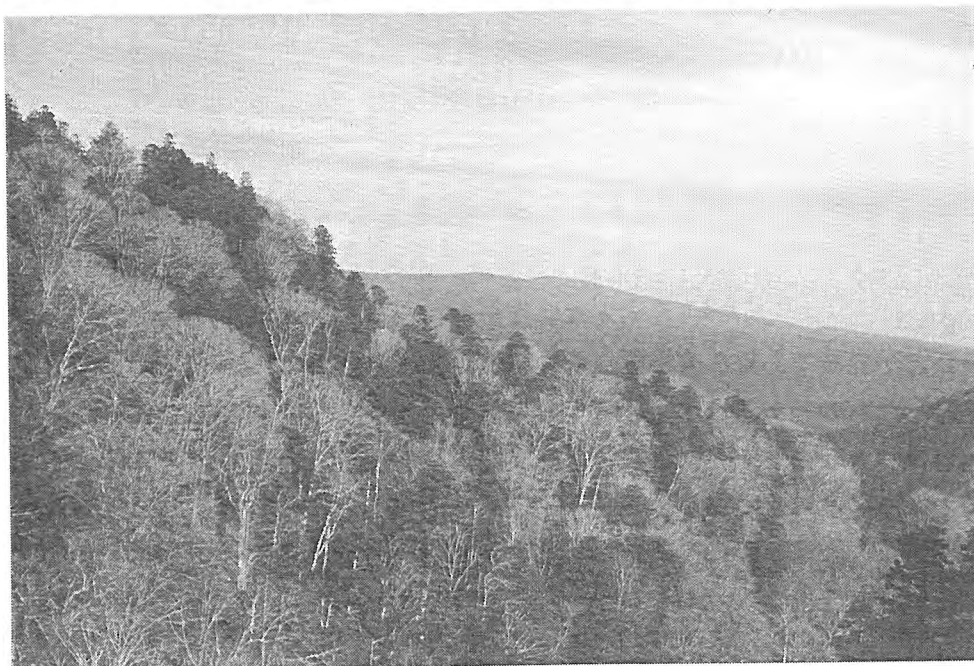


写 一 1 シンボルマーク付きの看板

大畑営林署は大畑町に所在する面積17、386HA、蓄積約3、880、000㎡の国有林野を管轄し、大畑、薬研、赤滝、の三つの森林事務所に分割して、管理経営しています。

署内の機構は、総務課に2つの係、業務課に6つの係を設置して業務運営をしています。管内の約74%が天然林で、林内の主要樹種は日本三大美林と言われているヒバで一般に生育が良好です。広葉樹ではブナが主体でコナラ等が分布しています。

この写真は赤滝山国有林58林班で146年生の林です。(写-2)



写 - 2 赤滝山国有林 天然林

人工林は約30%を占め、主な樹種はスギです。

この写真は鍋滝山国有林116林班で40年生の林です。(写-3)



写 - 3 鍋滝山国有林 人工林

最近特に森林に対する国民の期待が高まっていることから、国土保全、水源の涵養、保健休養の場を与える等、それらの持つ機能を発揮しながら、林産物の安定供給に努め

地域産業の発展と住民福祉の向上に力を入れています。その結果、林地の一部を全て伐る皆伐を減らし、林地の一部を抜き伐りする択伐作業により、天然の力を利用して種を落とし芽を出させ、それを育てる作業をしています。

この写真は葉色山国有林162林班で、択伐した後の林です。若いヒバの木が育っているところです。(写-4)



写 - 4 葉色山国有林 ヒバ稚樹

このようにして、長年かけて大きく育てた木を伐って皆さんの暮らしに役立つ木材を供給する仕事が製品生産事業です。製品生産事業は皆さんの家等に使用する木材を、皆さんの要望に応じた物を出せるよう努力しています。

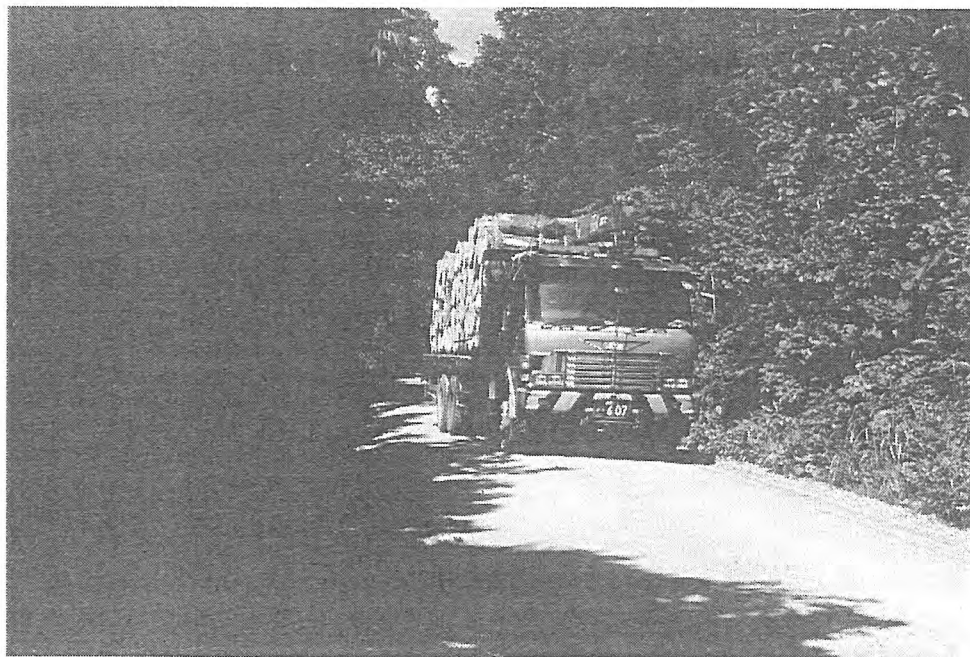
木を伐る量についても、資源の維持のため計画的にその量を決めています。

伐った木をトラクターでトラックに積み込みできる林道の傍まで運びます。この写真は丸太にする作業です。(写-5)



写 - 5 土 場

この写真は、丸太をトラックで運んでいるところです。(写・6)



写 - 6 木材の運搬

国有林は土砂崩れや飛砂の防止、水源涵養等の機能を持ち人々の生活を守っています。このような目的を発揮させるため特に指定された森林を保安林と言い、大畑営林署では薬研温泉郷を中心とした、下北半島国定公園が指定されており、日本三大美林の一つであるヒバとならんで、溪流、溪谷美に優れ、レクリエーションの森の設定を行う等、自然景観を維持し、保健休養機能の充実にも努めています。この保健保安林の面積は約800HAでヒバ林のなかを遊歩道が通り、環境に恵まれていることから地元の野外レクリエーションの場として利用が高まっています。

この写真はレクリエーションの森で森林教室を開いているところです。(写・7)



写 - 7 森林教室

この写真は森林教室で林内を散策しながら学習しているところです。(写 - 8)



写 - 8 森林教室

葉色山国有林162林班のヒバ施業実験林は、貴重な天然林の保護保存を図りながら併せて貴重なヒバ林について苗を植えたり、環境を変化させたり、いろんな実験をしています。面積約222HA、蓄積約60000m³、この内ヒバが約70%を占めています。この他にも、営林署では、山崩れを防ぐため、ダムを作ったり、林道を作り整備したり皆さんに土地等を貸したりもしています。

終わりに、森林は再生し利用出来るまでに50年、100年、樹種によっては200年以上と長い年月を要しますが、鉱物資源と違って再生できる唯一の資源です。

森林は無くなると砂漠化が進み人間を始め生物が住めなくなります。森林を、緑を、大切にしましょう。」

2 取組の結果

最初に大畑小学校に出向き4年生89名を対象にPRしようと思ったが、この内容では分かりにくいということで、スライドだけで直接説明してきました。

次に大畑中学校に協力してもらい2年生35名を対象にこのPRを実施する事が出来た。簡単なアンケートを書いてもらったが、その中で営林署を知っている人は60%、営林署の仕事が分かった人は80%、森林は大切だと思った人は100%、と良好な結果ではあったものの、おもしろかったと答えた人が63%ということで、もっともっと興味の沸くスライド等の充実を考えている。

このPRのメリットとしてはビデオテープよりも大勢の人達にPRできる。少人数でPRでき又、職員が出向かなくても単体で貸し出すことも可能である。その他に季節を問わずにPRできることが考えられる。

デメリットとしてはスライド写真でありリアリティーがない。又スライド写真も少なかったのも反省点である。

以上の事を参考にこれからさらに改良し、地域の人達に理解してもらい、当初の目的である地域に密接な営林署にしていきたいと考えている。